

議会市民懇談会報告書

平成26年7月2日

山陽小野田市議会議長 尾山信義 様

山陽小野田市議会4常任委員会正副委員長

平成26年7月1日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成26年 7月 1日 (火) 18:00 ~ 20:45

2 開催場所

小野田商工会議所2階会議室

3 申請団体等名称

小野田商工会議所地域活性化委員会

4 参加人数 (市民)

11 人

5 テーマ

- ①産業 ②元気 ③魅力創出 ④魅力発信
⑤定住促進等にまつわる中期ビジョン策定について

6 担当議員名

(河野朋子) (中村博行) (下瀬俊夫) (矢田松夫)
(松尾数則) (河崎平男) (伊藤 實)

7 懇談会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) テーマの趣旨説明
- (4) テーマの報告
- (5) 意見交換
- (6) 閉会挨拶

8 意見交換の主な内容

- 1 会議所地域活性化委員会が中心となり、この街をどのようにしていくのか、中期ビジョンを策定する為に、議会4常任委員会正副委員長と懇談会を開催した。
- 2 そのために同委員会は、①基本計画②市民アンケート③予算概要等の調査研究をしてきた。
- 3 日の出市場の空き状態についてどうするのか。
▼地元商店や小野田商工会議所とも相談をしているが、結論に至っていない。
- 4 JR小野田駅周辺の活性化について、何か策があるのか。
▼区画整理事業などの手法に基づき、今後対応をしていきたい。
- 5 行政と大学との連携はどうか。
▼産学連携をとっていく。
- 6 婚活事業について、状況説明をしてほしい。
▼昨年度より若者交流事業として、これまで5回開催している。参加者は20~30人程度で、現在実績は上がっていない。推進委員会のメンバーが高齢者ということで、若者のニーズに答えられているかなど課題がある。民間発想を取り入れるなど改善の必要があるのではないか。
- 7 観光課と観光協会の違いは。職員数はどうなっているのか。
▼イベントや観光事業そのものは、8割ぐらい観光協会の業務を3名が行っている。
- 8 魅力発信事業とは。ねんりんピック時に、飲食マップを作るべきではないか。
▼ガイドマップについては、公民館や市役所に行けばマップはある。ふるさと協議会が、中学校区毎にふるさとマップを作成している。
●中期ビジョンを3年計画で策定をする。行政にも予算を求め、資料請求もしていく。議会の力を借りたい。
●街の魅力はどこにあるのか。我が街の自慢はなにか。市民が自慢を発見するものを作っていく。